地震節用難支書
大道散人
挍訂
鈍画

北斎翁用筆古文書
大道散人 校訂

地震節用難事尽（ぢしんせつやうなんじづくし）

大道散人 校訂

抑（そもそ）く難事（なんじ）の初（はじま）りハ昔滑（むかしなめ）らか国（こく）の鯰王（なまづわう）といへる者（もの）そこらぢうをぬらくらとはねまハりしときそのゆり跡（あと）どんちやんどたすたとして難事（なんじ）をなせりしとぞ小野（をの）が馬鹿村藪（ばかむらやぶ）の中（なか）にあつて是（これ）を写（うつ）しとり文字（もんじ）の数（かづ）に加（くわ）へたりしとかや

偆（はる）うわき
⿰亻夏（なつ）ハやうきで
偢（あき）ふさぎ
佟（ふゆ）ハいんきで
⿰亻暮（くれ）ハまごつき
小野（おの）が馬鹿村（ばかむら）の
御哥なり

鈍画

⿰凶災 なまづ けうへんわざハひ	⿰轩熱 かうばり のきへん二まるた	⿰仮宅 にぎわひ かりへん二たく	⿰鉄持 めいわく かねへん二もち
⿰骨折 はりをち ほねへん二をる	⿰再震 ゆりかへし ふた〻びへん二ふるふ	⿰臥道 のじゆく ふしへん二ミち	⿰崩下 ほりだし くづれへん二した
⿰骨接 なぐら ほねへん二つぐ	⿸尸積 なげこミ しかばねつむ	⿰火龕 どんちやん ひへん二なまづ	⿰質止 ふじゆう しちへん二とまる
⿰平家 つゝがなし たいらへん二いへ	⿰蔵傾 あぶない くらへん二かたむく	⿰亻焼 こんがり にんへんやける	⿰金借 むざい かねへん二かり
⿰亻芸 こまる にんべんにげい	⿰木手間 はんじやう きへんにてま	⿰車運 しびと くるまへんはこぶ	⿰舟唐 やすミ ふなへん二から
⿰土荷 どかた つちへん二になふ	⿰小手塗 いそがしい こてへんにぬる	⿰役者 をあいだ やくへん二しや	⿰石要 かんじん いしへん二かなめ